

# 令和7年度 BIMライブラリ技術研究組合 部会2(BLCJ)活動（最終報告）

建築BIM推進会議2026/03/24

**BLCJ**

## R7年度の活動について

- 本年度は技術研究組合の研究活動の7年度目(最終)であり、5つの部会において研究活動を行い、以下に示す成果を得た。
  - ①BIMオブジェクト標準を拡充し、標準Ver.2.1として公表した
  - ②これまでの研究活動を総括活動報告書として整理・公表した
- 部会とは別に本年度設置したタスクグループでは、R7予算での「建築BIMによる設計環境整備調査」の業務を実施した。
- また上記の研究活動と調査業務とは、整合性を図り、相互に補完し合うよう実施した。

# 2025(R7)年度活動スケジュール等

	4月-6月	7月-9月	10月-12月	1月-3月
在り方部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMライブラリの試行結果の意見聴取</li> <li>・BIMライブラリの構築・運用の総括、活用方策の検討</li> </ul>			<p><b>①標準Ver.2.1のとりまとめ</b> (2月24日に公表し、同日に説明会を実施)</p> <p><b>②総括活動報告書の作成</b></p>
建築部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMオブジェクトの標準化の総括(建築領域)</li> <li>・標準Ver. 2.0の整理・拡充/・メーカー等への普及</li> </ul>			
設備部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMオブジェクトの標準化の総括(設備領域)</li> <li>・標準Ver. 2.0の整理・拡充/・メーカー等への普及</li> </ul>			
運用部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連規約、知的財産権の総括</li> </ul>			
連携部会 (テーマ4含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計から維持管理までの円滑な情報伝達の総括</li> <li>・周辺領域の技術開発の情報収集の総括</li> </ul>			
BIM図面審査 タスクグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BIM図面審査に関する設計者支援ツールの改良等</li> </ul>			

## 「BLCJ BIMオブジェクト標準Version 2.1」を 2月に当組合のホームページで公表済み

- この標準はすでに公表している**BLCJ 標準Ver.2.0**を拡充したもので、**オブジェクトごとに標準的な情報の項目、内容を整理したもの**
- 多くの関係者の長年のご尽力と建築研究所からの官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM） 予算等の支援による成果
- 標準の普及により、設計・施工・製造等の**建築生産プロセス**における**情報伝達を、より正確に、よりスピーディーに、ミスが少なく行えるようになること**で、**生産性向上が期待される。**
- また、**BIM等を用いた幅広いデジタル化技術の開発の促進に寄与することが期待される。**

# BLCJ 標準Ver.2.1の基本的な特徴

- ① 英国NBSオブジェクト標準の構造を保持しつつ、日本のきめ細やかなものづくりの技術基準に対応していること。(NBSは英国王立建築家協会の下部組織)
- ② 実務者の視点から、設計・施工・製造段階の主要な情報を属性情報に取り込み、標準化することで、2026年度から予定されるBIMを用いた**建築確認に関連する活動を支援し**、また公共建築工事標準仕様書等と用語の対応を図っていること。
- ③ 分類コードは、国内向けのCI-NETコードと、ISO12006-2に基づくグローバルな分類コードのUniclassを用いており、またOmniClassも考慮されていること。
- ④ BLCJ標準Ver.2.0の公表(2023年12月)が、2024年3月に公表された国土交通省建築BIM推進会議のBIMオブジェクト標準に広く反映されており、今回の改定では、BIMライブラリに実装できる特色を保持しつつ、国土交通省のBIMオブジェクト標準との整合性を図っていること。
- ⑤ 空間(オブジェクト)、免振装置、構造スリット、SRC造の柱、太陽光発電装置、電気設備関連の充実、建築確認に必要なダンパー等の設備機器等を加えるなど、BLCJ標準Ver.2.0の**対象品目の拡充**を図っていること。

# BLCJ標準Ver.2.1の改定概要

## [建築意匠領域]

既に公表している窓、ドア、シャッター、トイレ(建築意匠関連)、エレベータに加えて、新たに空間(オブジェクト)に関する標準を加える等、実業務での利用をより円滑にすることを目指した。

## [構造領域]

既に公表しているS造の柱・梁、RC造の柱・梁、基礎、壁、床、場所打ち杭、既成杭、ベースプレートに加え、免震装置、構造スリット、SRC造の柱の標準を設定した。

## [設備領域]

- ・建築確認申請等に必要な項目を「必須」とする等、優先順位を見直した。
- ・配電盤等や照明器具などについて、ISO等と整合をとるなど、属性情報を拡充した。
- ・消火設備・消火栓関連の設備資機材コードの追加・再編成等をした。
- ・標準Ver.2.1に対応したデータベースの更新を行った。

# BLCJ 標準Ver.2.1の対象範囲

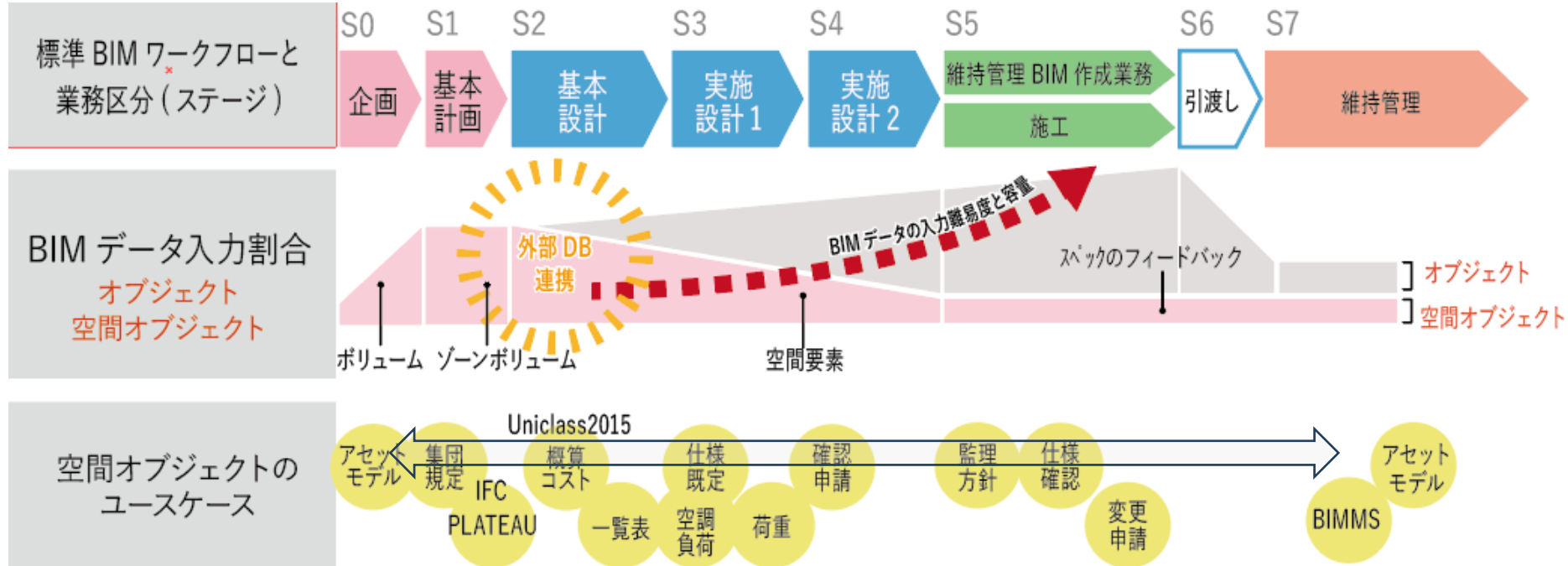
**BLCJ 標準Ver.2.1の対象範囲**は、以下のとおりです。  
なお下線の項目は標準Ver. 2.1での拡充部分を示す。

分野(段階)	標準Ver. 2.1で対象とする部位・品目
建築意匠 (S1-S4)	窓、ドア、シャッター、トイレ(建築意匠について) <u>空間(オブジェクト)</u>
構造 (指定なし)	S造の柱・梁、RC造の柱・梁、基礎、壁、床、場所打ち杭、既成杭、ベースプレート、 <u>免震装置、構造スリット</u> <u>SRC造の柱</u>
電気設備 (S2-S6)	照明器具、高低圧配電盤 発電装置、盤類、防災器具、 <u>太陽光発電装置</u>
機械設備 (S2-S6)	ボイラー、冷凍機、冷却塔、ポンプ、送風機、空気調和機、 全熱交換器、排煙機、給湯機、衛生器具、受水タンク、 消火設備、バルブ、 <u>ダンパー</u> 、 <u>制気口</u> 、計器類
その他	エレベータ

# 空間オブジェクト

## ●空間オブジェクト運用イメージと取組メリット

「空間オブジェクト」は直感的に行われている設計の初期段階を外在化し、専門家と発注者等がコミュニケーションできる媒体である。建物のあり方を共有するオブジェクトであると同時に、発注者の要求仕様を建物のライフサイクルを通して情報入力し、蓄積管理された情報を次の計画の要求仕様に還元できるデジタルサステナブルなオブジェクトである。ライフサイクルコンサルティングをマネージメントする標準ツールとして期待ができる。



# 空間オブジェクトの利用目的

## BLCJテーマ3：BIMによる円滑な情報連携の実現

項目	活動内容
情報連携ルールの検討	色分け図を含むユースケースの検討 ユースケース毎の情報フィルタリングに関する検討
オブジェクト標準への反映	ジェネリックオブジェクトとしてBIMソフトウェアに搭載済ビューテンプレート、ビューワによる情報の視覚化検討

### 利用目的（ユースケース）と研究内容 ※：新規目的

① 設計条件の設定	色分け図に必要な属性（重量、照度分布、空調エリア、要求水準等）
② 仕上げ等の表示	一覧表（面積表、仕上げ表等）に必要な属性
③ 積算との連携	概算（S2積算）に必要な属性と外部データベース連携検証
④ 維持管理等	「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」、BIMMS、建築保全情報属性項目
⑤ 建物のあり方検討※	建物情報とかたち（3D）との整合検討プロセスに必要な属性項目
⑥ 他分野連携※	積算DB、PLATEAU・不動産ID等との連携

# 総括活動報告書の概要

- これまで7年間の試験研究成果を整理したもの
- アーカイブに掲載し、広く一般に公開し、研究成果の普及を目的

## 【記載内容】

- ・試験研究の検討対象
- ・検討体制
- ・各年度の検討結果概要
- ・各部会における検討テーマ
  - 標準化(建築部会、設備部会)
  - 規約類、知的財産の取扱い (運用部会)
  - 仕様情報とBIMとの連携(連携部会)
- ・今後の課題

## 【構成】

- ・「検討の流れ」が見えるよう、報告書を「7年間の試験研究総括整理」「各年度の活動整理」「テーマごとの整理」の構成とした。

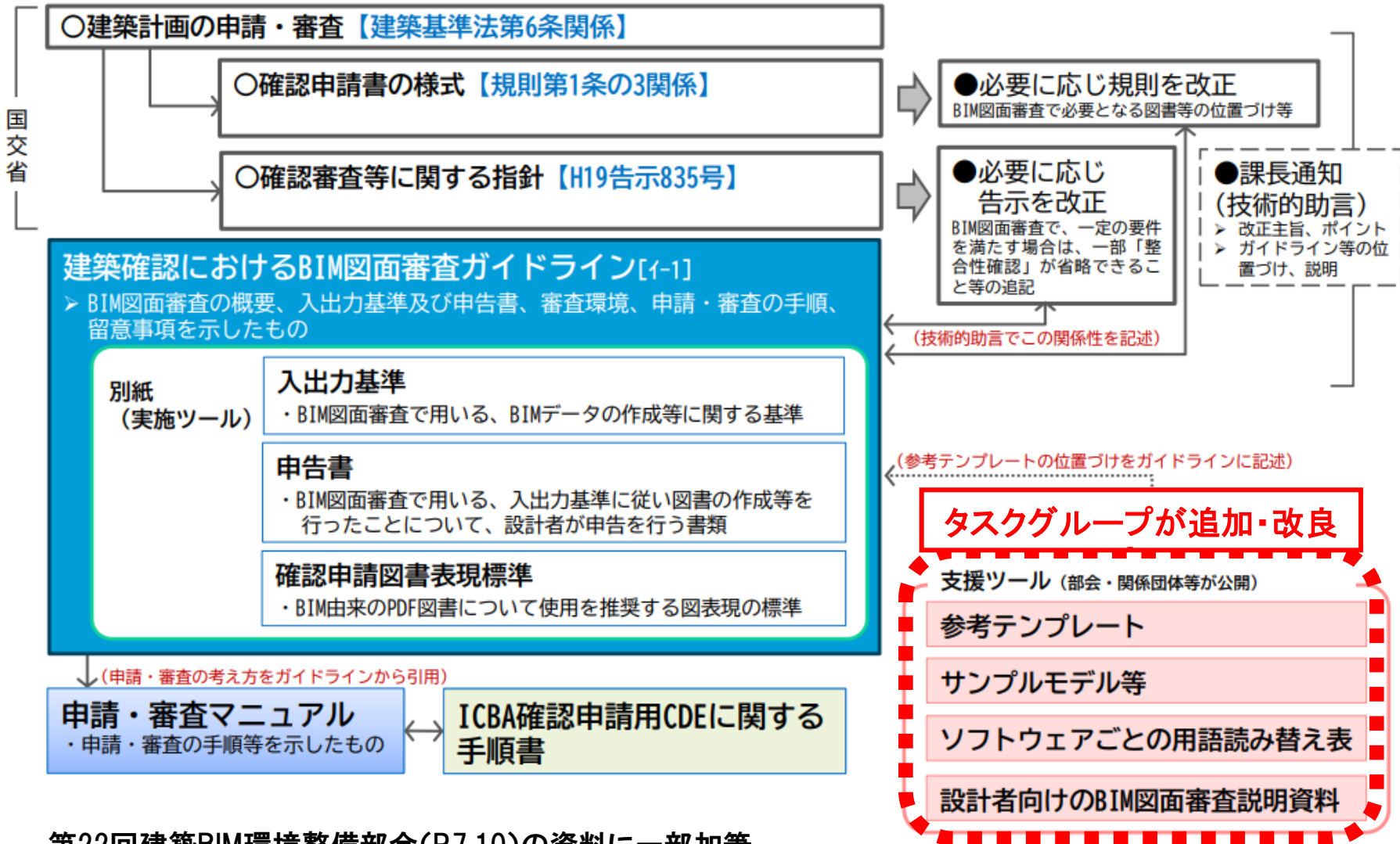
## 2.総括活動報告書の目次概要

	各部会の総括活動報告書に記載された主な内容
<b>在り方 部会</b>	検討対象、検討体制、成果と今後の課題、成果と課題等(各年度)、BIMライブラリの構築と運用、ビジネスモデルの検討
<b>建築 部会</b>	活動概要、部会の構成、属性情報WG活動(建具:窓、ドア、シャッター)、属性情報WG活動(機器:トイレ、EV)、属性情報WG活動(空間)、情報活用WGと建築アドオンWGの活動、構造WG活動
<b>設備 部会</b>	取り組み、標準Ver.2.1の整備、試験用BIMライブラリサイト試行運用・検証、審査TFとの連携、標準Ver.2.1の展望と課題整理
<b>連携 部会</b>	検討対象、検討体制、成果と今後の課題、成果と課題等(各年度)、仕様情報とBIMの連携、維持管理・FMの標準化に向けて、周辺技術の情報収集
<b>運用 部会</b>	検討対象、検討体制、成果と今後の課題、成果と課題等(各年度)、規約類の整理

# 建築BIMによる設計環境整備調査

## BIM図面審査の開始に向けた

### ■ ガイドライン・マニュアル、各種ツールの位置づけ



第22回建築BIM環境整備部会(R7.10)の資料に一部加筆

# 建築BIMによる設計環境整備調査

- RC造3000㎡庁舎モデルを追加したほか、申告書の書式や参考テンプレートなどを適宜更新している。
- サンプルモデル（事務所モデル、庁舎モデル）については、意匠、構造、設備を合わせ、令和8年1月末現在で1万2千件を超えるダウンロードがある。



BLCJ

トップページ トピックス 活動内容 組織概要 組合員ページ アクセス

BIM図面審査サンプルモデル

ホーム / BIM図面審査サンプルモデル

●配付中のファイル一覧

BIMソフトウェア	S造1000㎡事務所モデル				RC造3000㎡庁舎モデル		
	サンプルモデル	参考テンプレート	PDF出力例	申告書記入例	サンプルモデル	PDF出力例	申告書記入例
意匠	Revit 2022	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Archicad	<input type="radio"/> (Archicad26)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> (Archicad27)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Vectorworks 2024	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	-
	GLOOBE 2025	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	-
	参考IFC	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
構造	Revit 2022	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	参考IFC	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
設備	Revit 2022	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Rebro	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	-
	CADWe'll T-fas/Linx	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	-
	CADEWA Smart	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	-
	FILDER CEED	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-	-
参考IFC	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			

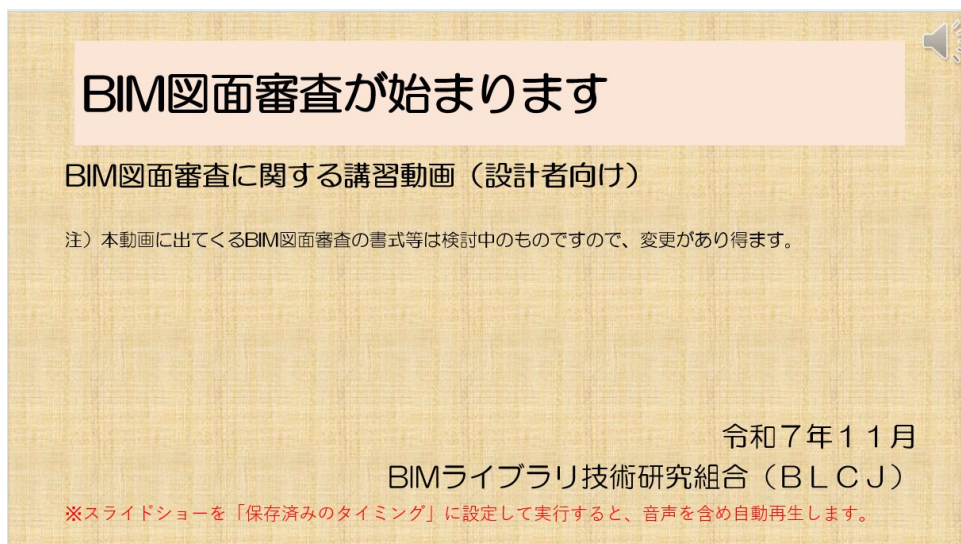
[https://blcj.or.jp/sample\\_form/](https://blcj.or.jp/sample_form/)

## ■講習動画

**YouTube版、PPT版の2種類を作成し、組合のホームページで公開した。**  
(YouTube版は令和8年1月末現在で500回以上再生)

## ■新規資料（BIM図面審査への取り組みの要点）

**BIM図面審査に取り組むヒントとともに、BIMによる作図上のミス等を減らすための留意事項などを整理した。**



**BIM図面審査が始まります**

BIM図面審査に関する講習動画（設計者向け）

注）本動画に出てくるBIM図面審査の書式等は検討中のものですので、変更があり得ます。

令和7年11月  
BIMライブラリ技術研究組合（BLCJ）

※スライドショーを「保存済みのタイミング」に設定して実行すると、音声を含め自動再生します。

講習動画の冒頭ページ

目次	
<b>1. 入出力基準の選択的適用</b>	案件の特性や設計者のスキルに応じて、入出力基準に適合させる項目（申告の対象）を絞り込む「段階的な取組み」の考え方を示します。
<b>2. 作業効率化のための準備</b>	参考テンプレートの活用例を示します。
<b>3. BIMを用いた設計を行うに当たっての留意事項</b>	BIMを用いて作図する場合の留意事項をヒヤリハット事例になぞらえて示します。

©2025 BIMライブラリ技術研究組合  
新規資料のコンテンツ

# (参考) アーカイブ用ホームページのイメージ

**BLCJ**

トップページ トピックス 活動内容 組織概要 組合員ページ

BIMライブラリ技術研究組合アーカイブ

ホーム / BIMライブラリ

本ホームページは3年維持  
(令和8年度～令和10年度)



研究成果等、ロゴマーク等の  
取扱いに関する配慮事項を  
記載

一般

- BLCJ BIMオブジェクト標準Version. 2.1
- BIM図面審査サンプルモデル
- BLCJ総括報告書

元組合員

- 年度報告書
- 部会活動資料

BLCJ標準Ver.1.0～Ver.2.1  
及び 総括活動報告書を  
一般公開

サイト内検索

カテゴリー

アーカイブ

検索...

検索

カテゴリーを選択

月を選択

BIM図面審査の支援ツール  
(サンプルモデル等) を  
一般公開

©2019-2026 BIMライブラリ技術研究組合